

第6区分 フロセス熱化学分野

1. 1年間の大まかな流れ (4 回生)

前期	4 月	研究室配属/4 回生歓迎飲み会
	5~8 月	院試勉強/ゼミ・実験講習
	8 月	大学院入試
	9 月	研究テーマ決定・実験開始/スポーツ
後期	2 月下旬	卒業論文提出・発表会
	3 月	工場見学/来期に向けての準備

前期は院試勉強を中心に、熱化学のゼミ、及び実験の基本的な注意事項などを教わる実験講習があります(それぞれ週 2 コマの予定)。もちろん、前期から研究・実験を始めることも大歓迎!

後期は希望に沿って卒業研究のテーマを決め、先生や先輩の指導を受けながら実験を行なっていきます。年末頃からは、卒業論文を徐々に書き始めます。

2. 普段の生活

09:30 に朝ミと呼ばれるミーティングがあり、連絡事項の共有やスケジュール等の報告を行います。1 限に講義が入っている場合は、講義を優先して構いません。日中は、各自で立てたスケジュールに基づき、実験やデータの解析、装置の作成や各種事務作業などを行ないます。

また、毎週水曜日の 16:00~ には報告会があり、先生方や他の学生に研究の進捗を報告して、助言や指摘をもらったりします。各自月に 1 回、持ち回りで報告をします。

3. 院試

この研究室は平藤研(第 5 区分)と共にエネルギー応用科学専攻に属しており、8 月上旬に院試が行われます。エネルギー応用科学専攻では、理系科目 2 科目(エネルギー熱化学、物理化学、電磁気、工業数学など)と英語の計 3 科目が出題される筆記試験と、面接試験が行なわれます。

卒業研究に向けた前期のゼミで長谷川先生からエネルギー・材料熱化学を分かり易く徹底的に教わるので、院試でもエネルギー熱化学 1 科目は満点を狙う事ができます。残る理系科目 1 科目、そして英語の 2 科目を勉強すれば、院試はほぼ大丈夫。もちろん研究室には、過去問・解答例も揃っています。

4. その他

- ・ 「熱化学」のプロになれます。
- ・ 最高で 1750°C もの高温を扱える日本でも数少ない研究室。「500°C は低温! 光ってなければ熱くない。」
- ・ 工具の使用スキルが身につきます。↑の高温装置の自作も朝飯前。
- ・ 一般的な研究室と比べても、メンバー間の仲が良いです。(研究室グッズを皆で愛用!)
- ・ 平藤研(平藤先生・三宅先生・池之上先生)や土井研(土井先生・堀井先生)とも仲が良いです。(同じ専攻ということで、合同で宴会などを実施することもあります。)
- ・ 秋に「スポーツ」というイベントがあります。1 泊 2 日で、OBOG の皆様を招いてのスポーツ大会&飲み会が行なわれます。楽しいのはもちろん、OBOG の方々との交流は、就職活動でも役立つかもしれません。
- ・ 卒論提出後、OBOG の方々が働く工場を見学しに行きます。仕事の様子や、現場の巨大な装置を見せてもらえます。行き先は縁の深い鉄鋼系の場合が多く、専門に即した特別なコースを案内してもらえることも。
- ・ 研究室対抗のソフトボール・フットサル大会があります。ソフトボール・フットサル好きの人は是非!!!
- ・ カレー禁止。